

(様式第2号)

## 島本町青少年指導員協議会 要点録

令和4年2月24日作成

会議の名称	令和3年度2月分青少年指導員協議会		
会議の開催日時	令和4年2月22日(火)	午後7時00分～午後8時30分	
会議の開催場所	島本町役場 地階 第五会議室	公開の可否	可・一部不可・不可
事務局	教育委員会事務局 教育こども部 生涯学習課	傍聴者数	なし
出席委員	花田 純子 久保 敏 柳 珠 希 田口 和 枝 春名 哲雄 田村 澄子 竹田 直文 中川 美香子 計 8 名		
会議の議題			
(案件)	(1) 青少年指導員協議会後期研修について(報告) (2) 三島ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について(報告) (3) 青少年指導員だより(第9号)について (4) 地域における青少年の現状と課題について (5) その他		
配布資料	令和3年(2年度)青少年指導員協議会後期研修の結果報告他		
審議等の内容	別紙要点録のとおり		

# 令和3年度 2月分青少年指導員協議会

日時：令和4年2月22日

午後7時00分から午後8時30分

会場：島本町役場 地階 第五会議室

## 1 会長あいさつ

## 2 案件

### (1) 青少年指導員協議会後期研修について(報告)

- 参加者 花田会長・久保副会長・柳副会長・板井指導員・田口指導員・春名指導員・田村指導員・吉崎指導員・秋月指導員・竹田指導員・中川指導員・安藤次長(事務局)・岡本(事務局)
- アンケートを募ったが、まだ回答が3名のみである。今後、アンケート結果を報告することも考えている。
- 里親についてまだ敷居が高い。
- 里親家庭が近所のどこにいるのかわからない。
- 後期研修を受講した後にやって欲しいこととして、ロコミで広めて欲しいということだったので、グループLINEの友達に伝えた。普段の生活では知ることが出来なかったことがわかった。一步踏み出した人しかわからない。いろんなこども達がいる。何か出来たら。しかし、そこからの一步が踏み込めない。実親さんがいるので気になることもある。子どもが大人になった時に里親さんはどのように関わっていくのか。
- 島本町の方で里親の資格をとった方がいる。里子が実子に近い子のいる家庭の場合は里親にならない。
- 東日本大震災で親が亡くなった子どもが大勢いる。厚生労働省が養育里親・親族里親・要支援組里親を実施した。
- 里親は北陸・新潟が里親支援が盛んである。
- 今回の研修のように、直接お話しを聞く機会があればわかっていく。

### (2) 三島ブロック青少年指導員連絡協議会研修会について(報告)

- 参加者 花田会長・久保副会長・柳副会長・板井指導員・田口指導員・田村指導員・吉崎指導員・竹田指導員・岡本(事務局)
- 講演時間の2時間は長いかと思っただが、話を聞いていると短かった。
- 講演の後、人に話したくなった。
- 大人が知って、子どもに教える。
- 防災ということで、子ども達は小・中学校の外壁はよけるが、学校の中の内壁はよけない。
- ハンドパンの演奏は癒された。防災についての講演会にマッチするか疑問だったが、音楽は災害時に癒しになることがわかった。

### (3) 青少年指導員だより(第9号)について

以下のスケジュール(案)について説明した。

- 初稿について校正した。
- 2月28日(月) 印刷発注
- 3月1日(火) 発行日
- 3月7日(月) 納品、仕分け
- 3月9日(水)頃 配布

### (4) 地域における青少年の現状と課題について

- コロナのため、子ども達が夜遅く外出しているのは見かけない。

### (5) その他

- 令和3年度活動報告について、青少年指導員だより(第9号)の仕分けの時に配布する。

出席者	青少年指導員	花田 会長	久保 副会長	柳 副会長	田口 指導員	春名 指導員
		田村 指導員	秋月 指導員	竹田 指導員	中川 指導員	
	生涯学習課	安藤 次長	岡本 主査			

次回開催日 3月22日(火) 午後7時00分から